

第11期 年次報告書

ANNUAL REPORT



2023.7 - 2024.6

認定 NPO 法人エデュケーションエーキューブ

MESSAGE

すべての子どもに自分らしい学びを～私たちの思い～



代表理事 草場 勇一

第11期も、認定NPO法人エデュケーションエキューブを温かく見守り、支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。困難な局面に直面するほど、皆様の支援の大きさを強く感じた1年でした。

第11期では、現場スタッフへの権限委譲を進め、スタッフが主体的に運営に取り組む体制を整えました。これにより、現場での迅速な意思決定や対応が可能になり、より子ども一人ひとりに寄り添った支援を提供できるようになりました。また、プラットフォーム事業の一環として、福岡以外の地域にも学びの選択肢を広げるべく、休眠預金を活用した資金分配団体としての挑戦にも取り組みました。

また、次の時代を見据え、AIの活用を重視した取り組みを開始しました。AI技術は、個々の学びをさらに最適化し、教育の可能性を広げる大きな力を持っています。私たちは、新しい技術を取り入れることで、子どもたちに未来を切り開くためのツールとスキルを提供したいと考えています。

これからも、「子ども達が自分らしく幸せに生きていける社会」の実現を目指し、歩みを止めることなく挑戦を続けてまいります。皆さまの変わらぬご支援を心よりお願い申し上げます。

日頃より温かいご支援をいただき、誠にありがとうございます。当法人は「教育の選択肢を広げる」を使命に、学校に行けない子どもたちのためのオルタナティブスクール運営やオンライン学習支援、他地域展開の検討など多岐にわたる活動を続け、今年も新たな挑戦を重ねてまいりました。

特にAIは、学びの形を大きく変える強力なツールであり、子どもたちが安心して自分らしい学びを追求できる環境づくりへの活用に大きな可能性を感じております。私は直接現場に立つことはありませんが、副代表理事として外部から全体を支え、その成果が地域社会に根付き、支援の輪が広がる姿を見守る中で、日々深い感動を覚えています。

また、NPOとして果たす役割を多くの寄付者や支援者の皆さまと共有し続けることの大切さを実感しております。今後も子どもたち一人ひとりが未来を切り拓く力を育むため、現場スタッフと共に歩み続けます。引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。



副代表理事 佐村 礼二郎

NPO PROFILE

VISION

子ども達が自分らしく
幸せに生きていける社会に



MISSION

誰もが参加できる
公正な教育の場を提供する

名称	認定NPO法人エデュケーションエキューブ（Education A ³ ）
所在地	福岡県福岡市西区野方1-19-33
設立	2013年8月2日
代表理事	草場勇一
副代表理事	佐村礼二郎（エーアイキャピタル（株） 代表取締役CIO）
理事	伊藤尚毅（アントキャピタルパートナーズ（株） マネジングパートナー）
理事	安川由莉（スタディプレイス事業担当）
監事	伊藤雅浩（シティライツ法律事務所 弁護士）
監事	山本教貴（山本公認会計士事務所）
スタッフ	10名
事業内容	学校に代わる選択肢となるオルタナティブスクール運営

OUR HISTORY

11年の挑戦と進化～学びの新たな形へ～



LOGIC MODEL

ミッション実現ためのロジック

「すべての子どもたちが自分らしく幸せに生きる社会」を実現するため、具体的な活動や成果をステップごとに明確化し、私たちは着実に社会的インパクトを生み出します。



SOCIAL ISSUES

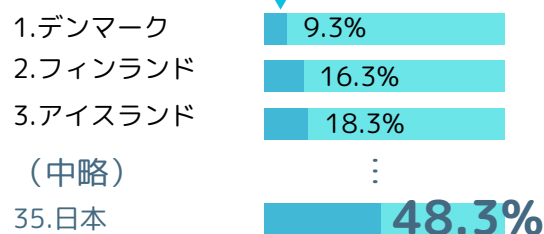
私たちが取り組む社会課題～貧困がもたらす教育格差～

日本では、多くの子どもたちが貧困に苦しんでいます。特に、ひとり親世帯の子どもたちは、世界的に見ても厳しい状況に直面しています。この現状は、教育や体験の格差を生み出し、子どもたちの将来の選択肢を狭めるだけでなく、貧困の固定化をもたらしています。

01 日本では、約9人に1人の子どもが貧困状態にあります

厚生労働省の報告書（2023年）によれば、日本の子どもの相対的貧困率は11.5%であり、約9人に1人が相対的貧困状態にあることが示されています。また、OECDのデータ（2021年）によると、日本のひとり親家庭の相対的貧困率は48.3%とされており、OECD加盟国36カ国中35位と、極めて高い水準に位置しています。

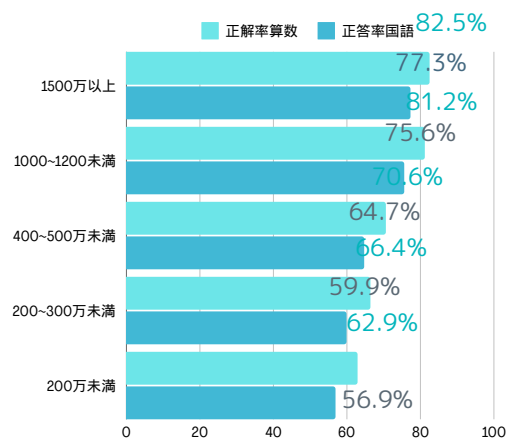
OECD加盟国のひとり親世帯の相対的貧困率



出典：内閣府男女共同参画局「ひとり親世帯の貧困率の国際比較」

02 経済的背景が教育格差につながる

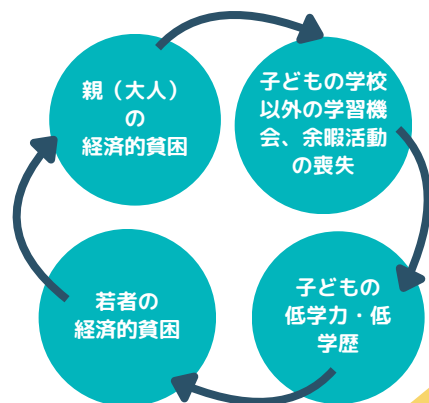
世帯収入は学力と非常に高い相関関係にあります。これは、他の子どもたちのように塾に通わせる余裕がないことや、落ち着いて勉強できる家庭環境がないこと、そしてより低年齢のうちに家庭で培われる生活習慣や基礎的な学力が不足することによるものです。



出典：お茶の水女子大調査

03 世代を超えて貧困は固定化する

家庭の経済格差は、子どもたちから学習や様々な体験活動の機会を奪うことに繋がります。加えて、新しい時代に必要な知識やスキルを得る機会も制限します。教育機会に恵まれず低学力・低学歴になってしまった子どもたちは、社会に出た時に低所得の職業に就かざるを得ません。その結果、貧困は世代を超えて連鎖し、固定化するのです。



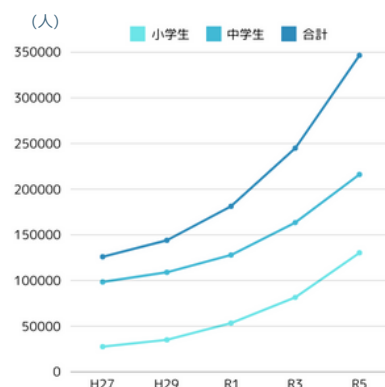
SOCIAL ISSUES

私たちが取り組む社会課題～不登校と貧困の関係～

私たちは、教育には「子どもの将来の可能性を広げ、人生を変える力がある」と信じています。しかし、現在の日本では不登校問題が深刻化しており、多くの子どもたちが孤立し、義務教育すら十分に受けられない状況に置かれています。

01 急増する不登校の子ども達

2023年度における小・中学校の不登校児童生徒数は全国で346,482人に上り、前年度から15.9%増加しました。そのうち約55%にあたる190,392人が年間90日以上欠席しており、義務教育を十分に受けられていない状況に陥っています。これは、子どもたちの将来や社会全体への影響を考えると看過できない事態です。



出典：文部科学省調査

02 社会から孤立する子ども達

福岡市では、不登校児童生徒数が23年度に5,184人に達し、そのうち学校外の民間施設に通うことで学校への出席扱いが認められた児童生徒はわずか186人でした。

また、全国では不登校の子どもたちの約38%が学校内外で何らの相談・指導を受けられていないとされています。このような状況の子どもたちは、学びの機会を失うだけでなく、心理的なサポートも受けられず、社会から孤立した状態に追い込まれてしまいます。

学校外の施設で出席が認められた児童・生徒

186人 のみ

5,184人

福岡市の不登校児童・生徒

出典：福岡市教育委員会

03 高額化するフリースクール等の授業料

経済的困難を抱える家庭の子どもが不登校になると、事態はより深刻化します。フリースクールには公的補助がほとんどなく、授業料が全額家庭負担となるケースがほとんどです。2015年度の平均授業料は33,000円でしたが、最近では50,000円を超える金額になっています。この負担増により、経済的に余裕のない家庭ほど学校以外の選択肢を利用することが難しくなり、教育格差がさらに拡大する要因となっています。

主要フリースクール等の授業料
(福岡市近辺で毎日登校のケース)

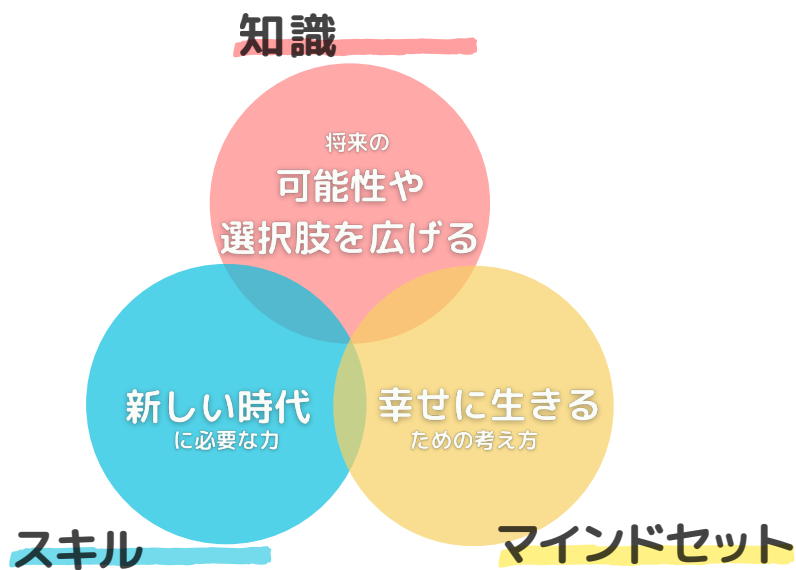
月額 54,104円

出典：当法人調べ

STUDY PLACE

学校の代わりになる新しい場所 オルタナティブスクール 「スタディプレイス」

スタディプレイスは、子どもたちが“新しい時代”をその子らしく幸せに生きていくために必要な“知識・スキル・マインドセット”を得る学びや体験を提供する“オルタナティブスクール”です。スタディプレイスに通うすべての子どもたちが、所属校の出席扱いになっています。



**ICTを活用した
個別最適化学習**

ICTを活用し、目標や学力に合わせて個別最適化された学びを提供しており、自分のペースで学べます。



**新時代に必要な
学び・体験**

新しい時代に必要な知識やスキルを身につけることができる学びや体験の機会を提供しています。



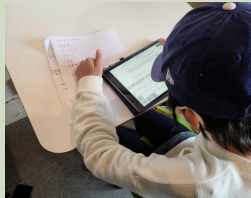
**費用負担が少なく
誰もがアクセスできる**

経済的に厳しい環境の子どもでも利用できるよう、独自の奨学制度を提供しています。

STUDY PLACE

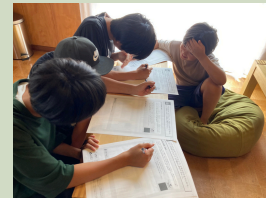
未来を見据えた多様なカリキュラム

ICT/AIを活用した個別最適化学習



子ども一人ひとりにiPadを配布し、目標や学力に応じて自分のペースで学べる環境を整えています。また、AIを活用してわからない点を調べたり質問したりすることで、最新のテクノロジーを活用しながら、楽しい学びを支援しています。

探究学習



子どもたちが自分の興味関心に気づき、自分の興味や将来の目標を見つけるきっかけになるように、探究学習に力を入れています。ゼミ形式や自由なテーマの調査などを通じて、子どもたちの興味関心を広げるサポートを行っています。

魅力的な大人プロジェクト



子どもたちが将来を思い描き、夢を持つきっかけをつかめるよう、自分らしく活躍されている方々を招いてご講演いただいています。今期は、芸能人や起業家、さらに身近な存在である大学生の方々等をお迎えし、多様な生き方や仕事についてお話しいただきました。

グローバルシチズンシップ教育



1. フランスはどんな国？
フランス人といってもルーツは様々
・差別の観点から人種、民族、宗教の統計は禁止
・国勢調査を含め、これらの公式統計は無い
・国のモットー：
「Liberté, Égalité, Fraternité (自由、平等、博愛)」
・人口：
約6,804万人
人口増加している！

次世代を担う子どもたちの将来の可能性を広げるため、海外について興味・関心を抱けるような機会を提供しています。外国のゲストスピーカーとZoomを繋いでお話しいただいております。今期も様々な国からゲストをお招きし、クイズや質問などを通して各国の文化を紹介していただきました。

プロジェクト学習



PBL（プロジェクトを通じた多様な学び）の一環として、GAPさんのご協力のもと、スタッフの古着を販売するフリーマーケットを開催しました。子どもたちがチラシ作成や集客、商品選び、会計までを自分たちで行い、ビジネスの経験やモノを売る楽しさを学びました。

校外活動



多様な体験を通じて学びを広げることを目的に、月に1回のペースで校外活動を実施しています。博物館や美術館で「本物」に触れる体験、デイキャンプでの自然体験、アイススケートやスポーツ大会等の身体を動かす楽しさを知る活動など、今期も多彩な活動を行いました。

SCHOLARSHIP

学びの機会をすべての子どもたちへ

スタディプレイスの奨学制度は、児童扶養手当を受給しているひとり親世帯や生活保護世帯、また様々な事情で経済的な困難を抱えている世帯を対象に、授業料の50～70%を免除しています。

特別奨学制度 利用者の声

母子家庭で保護費で家計を支えていますので特別奨学制度があるのはとても助かります。教育、進学という時に必ず費用がかかって、十分な教育を受ける事が難しい中で、こちらの制度を利用できる事で子供達に学びの環境を整えてあげられる事が非常に助かっております。

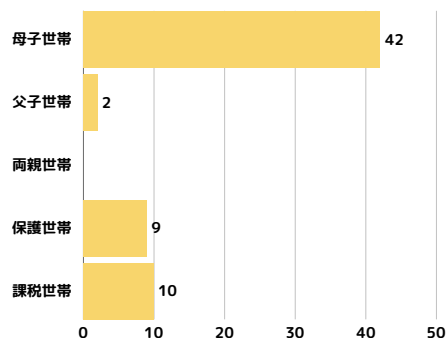
特別奨学制度を利用していることで、兄妹の習い事や食費に使えるので大変助かっています。特別奨学制度がなかったら、スタディプレイスさんへ通えないです。本当にありがとうございます。

アンケート結果

世帯背景 ひとり親世帯が97.7%を占め、養育費を受給したことがない世帯が59.5%

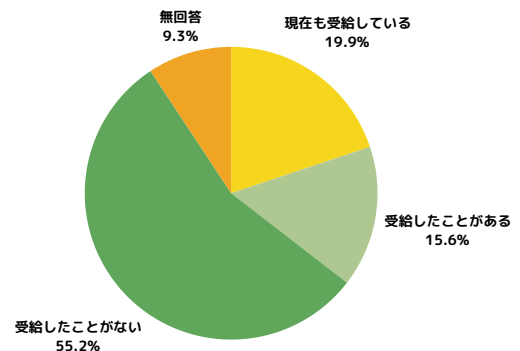
[現在もしくは奨学金制度利用時の世帯状況を教えてください]

45件の回答



[養育費の受給状況について教えてください]

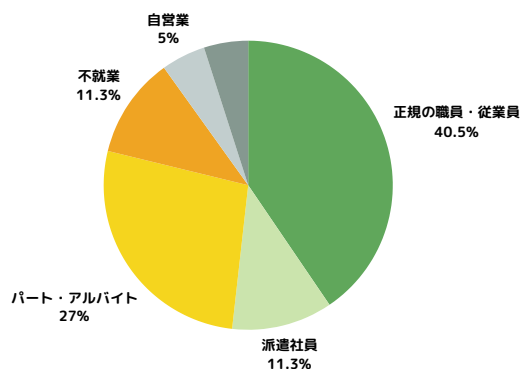
42件の回答



就業状況と世帯年数 就業している保護者が86%を占めるが、年収300万円未満が93%

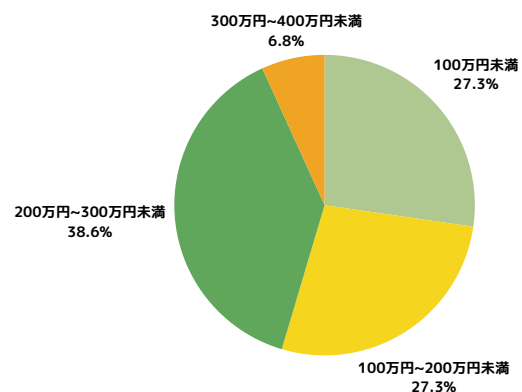
[現在もしくは奨学金制度利用時の就業状況を教えてください]

44件の回答

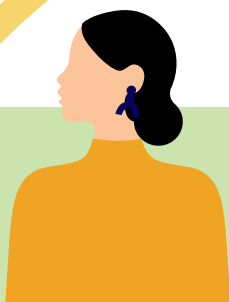


[昨年度の平均年収について教えてください]

44件の回答



VOICES



自分のペースで勉強ができ、穏やかに過ごせる スタディプレイスが合っていました。

中学生 男子生徒の保護者

今まで、本当にお世話になりました。スタディプレイスで卒業を迎えることが出来てとても嬉しいです。小学4年生の夏休み明けから行けなくなって苦しい時期が長く続きました。まだ小さく頼りない我が子は将来どうなってしまうのだろうと不安で仕方ありませんでしたが、今は身長も伸び、15才らしい中身も備えた人に成長しました。

中学生の勉強は一人でするには余りに多すぎるので、フリースクールへ行きたいと言われ、空席があるかドキドキして問い合わせたからもう卒業…あっという間でした。短かったけど、中身の濃い毎日で、行事も様々あり、充実していた様です。オンラインゲーム上では大人とよく遊んでいましたが、同世代の子ども達と過ごせたことも良かったです。怒鳴り声が響き、連帯責任で叱られ、理不尽なことの多い学校は息子には合わず、今思えば4年生までよく耐えたと思います。自分のペースで勉強が出来、穏やかに過ごせるスタディプレイスが合っていました。もっと早く行けば良かった～とよく言っていました。勉強の目標を立てて（無謀でしたが）必死に頑張り、それを応援して下さるスタッフの方々のおかげで走り続けることが出来ました。その日勉強したことを復習がてら夫や私に話してくれるのですが、私たちの頃より勉強の内容が多い気がしました。今どきの中学生は大変ですね。

思いがけず子どもが不登校になり泣いていた私も親の会に行き、たくさんの方の話を聞き、本を読みネットを漁り講演会に行き、たくさん学びました。学校のあり方にたくさん疑問もあります。でもやはり何と言ってもコスパは良いです。必要なものであるのは事実ですがそこから離れてしまった子どもたちが行ける場所がもっと増えて欲しいと心から願っています。学校を離れたらその瞬間から勉強をする機会を失ってしまうのは本当に悲しいです。息子も勉強は嫌いではなくむしろ好きな方だったのにどんどん学年が進むのに自分だけ置き去りのようでとても苦しみました。国も本腰を入れて取り組んで欲しいですね。選択肢はたくさんあって、間違えたら別の選択肢の方へ進んで、境目はあいまいで、お互いを優しく認め合えるような社会になってほしいです。

スタッフの皆様、短い間でしたが本当にお世話になりました。この期間で息子はグンと成長しました。家でじっと心の回復を待つ期間も、スタディプレイスへ通うためのパワーを溜める大切なものだったと思いますが、やはり人と接する場所は大切ですね。頑張りをお認めてもらうことで更にやる気が出たり勉強以外の話をして楽しい気持ちになったりしていました。素敵な大人に出会ってほしいという私の願いは叶えられました。（小学生の時、大人への信頼を失っていたので）

高校では同世代の友人を作って楽しく過ごしてほしいと願っています。息子にスタディプレイスと言う母校が出来て嬉しいです。家族皆で感謝しています。

毎日お忙しいと思いますが、お体大切に下さって下さい。

スタッフの皆様の健康としあわせを祈っています。

そしてスタディプレイスがどんどん大きくなって、全国の子ども達が学校とどっちにしようかなと選べるようになれば嬉しいです。ありがとうございました。

11TH ACTIVITIES

新たな10年に向けての第一歩

01. アクセンチュア様による「ロボットプログラミング講座」

アクセンチュア（株）の協力を得て、保護者参観形式で「課題解決型ロボットプログラミング教室」を実施しました。このワークショップでは、子どもたちが身近な課題を解決するオリジナルロボットを製作し、課題解決力を養いました。アクセンチュアのサポートのもと、チームでのアイデア出しからロボットの組み立て、プログラミング、発表までを楽しみながら取り組む姿が見られました。保護者にも講座の様子を参観いただき、「子どもたちがチームで創造的に取り組む姿が印象的」「技術に触れ成長する姿が見られた」と好評の声をいただきました。



02. 法人設立10周年記念クラウドファンディング

法人設立10周年記念クラウドファンディングでは、98名の方から総額1,082,000円ものご支援をいただき、目標を大きく上回る成功を収めました。多くの皆様の温かいご支援と情報拡散のご協力に心より感謝申し上げます。いただいた寄付は、教室環境の整備と学習環境のさらなる改善に活用します。今後も「多様な学びの場が選択できる社会」の実現に向けて尽力してまいります。



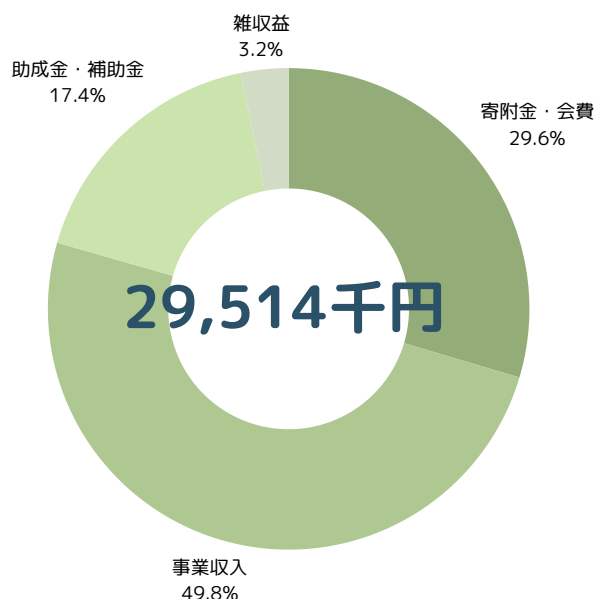
03. 第6回GAPフリーマーケット

GAP古着を販売するフリーマーケットを開催しました。本活動はPBL（プロジェクトを通じた多様な学び）の一環として行われ、子どもたちがポスター作成、集客、商品選定、会計などを自ら担当しました。GAPスタッフには店舗見学や意見交換、当日の運営サポートなど多大な協力をいただき、当日は150点以上を販売し、売上は過去最高の99,100円を達成しました。子どもたちは、ビジネス経験やリユースの重要性を学び、貴重な成長の機会を得ることができました。



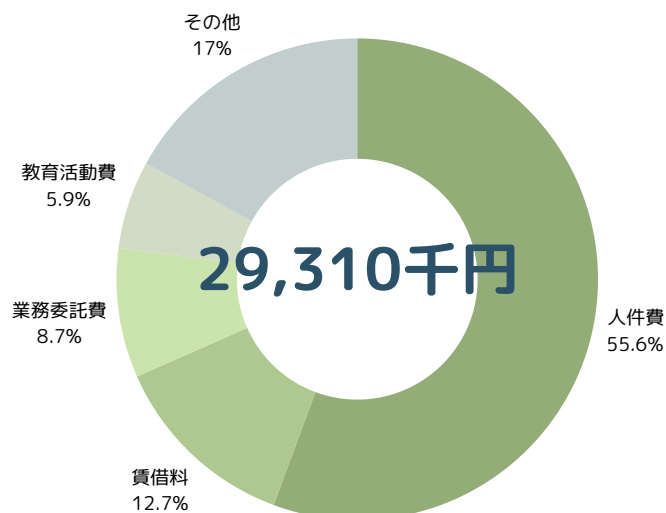
FINANCIAL DATA

収入の内訳



第11期の収入は 29,514千円となり、前年度比で微増となりました。内訳は、事業収入が14,688千円で全体の約48%を占め、前年度比で微減でした。一方、寄付収入と会費を合わせた金額は8,725千円となり、前年度を上回る結果となりました。10周年を記念したクラウドファンディングで多くの皆様に支えられたことがその要因です。

支出の内訳



第11期の費用は、前年比横ばいの29,310千円となりました。内訳を見ると、正職員2名の採用により、人件費が管理部門を含めて16,310千円となり、前年比で微増となりました。一方で、オンライン事業の見直しを行った結果、業務委託費が減少し、全体的な費用抑制に寄与しました。その結果、黒字で着地することができました。

活動計算書及び貸借対照表がエデュケーションエキューブの2024年6月30日をもって終了する事業年度について業務執行状況、経営の状況及び同日現在の財務状態を適正に表示しているものと認めます

監事 伊藤 雅浩
シティライツ法律事務所
弁護士

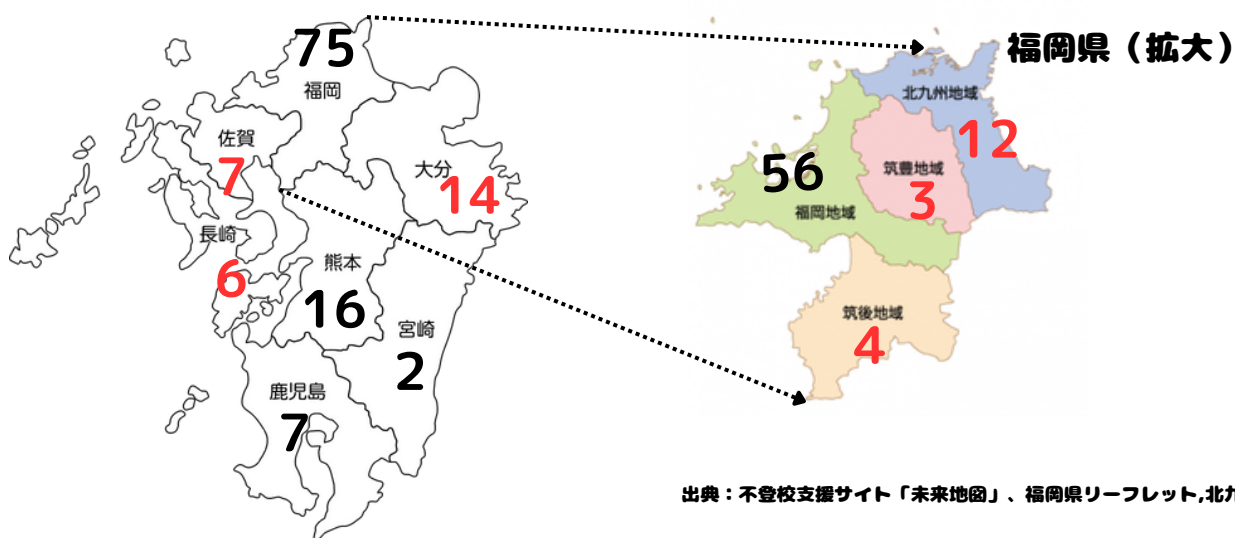
監事 山本 教貴
山本公認会計士・税理士事務所
公認会計士／税理士

NEXT STEPS

地域間の義務教育格差の是正を目指して

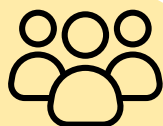
スクールの運営ノウハウをサポートする非資金的支援と
休眠預金による資金支援を実施するプラットフォーム事業を展開

九州のフリースクール・オルタナティブスクールの教室数



プラットフォーム事業

ヒト



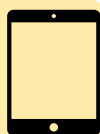
- スタッフの共同研修
- インターン生採用支援
- オンラインでのカリキュラム提供

カネ



- 休眠預金を活用した資金支援
- 助成金・補助金・寄付の獲得支援
- 特別奨学制度の適用

モノ



- ICT端末の選定・購入
- 学習管理ツールの活用
- 学習教材の選定・購入

情報



- ICT・AIを活用した学習
- 運営マニュアル作成
- 生徒情報管理データベース構築

SUPPORTERS

学びの可能性を広げる支援の輪

私たちの活動は、法人・個人の皆さまのサポートによって成り立っています。
活動へのご理解・ご支援に感謝申し上げます。

寄付でのご支援 (2024年11月末現在)

現在の
マンスリーサポーター

111人

現在の
アニュアルサポーター

63人

10周年のクラファン
サポーター

98人

活動のサポート

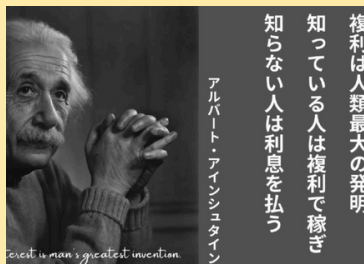
アクセンチュア 様

課題解決型
ロボットプログラミング
ワークショップ



ヌビーンジャパン 様

外資系企業での働き方
投資に関する
金融教育



ギャップジャパン 様

GAP古着を販売する
フリーマーケット
プロジェクト



DONATION

社会的投資として次世代を担う子どもたちを応援してください！



私たちは認定NPO法人です。認定NPO法人への寄付は、税制優遇の対象になります。

マンスリーサポーター

1,000 円/月

2,000 円/月

3,000 円/月

5,000 円/月

10,000 円/月

一回のみのご寄付・企業様からのご寄付も大歓迎です！
詳しくはエデュケーションエキューブウェブサイトから！



〒819-0043 福岡県福岡市西区野方1-19-33

 <http://education-a3.net/>

 info@education-a3.net

 <https://www.facebook.com/Education.A3/>

 [education_a3](https://www.instagram.com/education_a3)